

民生委員児童委員の活動実績

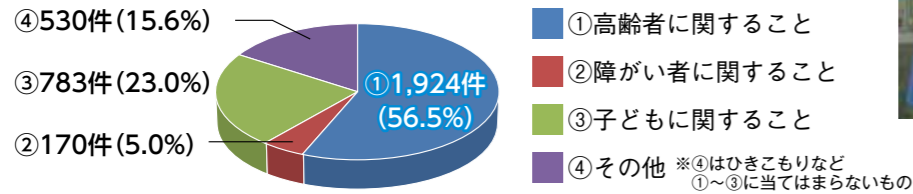
民生委員児童委員は、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮など、福祉的な支援が必要なときの相談や地域での見守りなどの活動をしています。

また、小中学校のあいさつ運動、福祉施設などでのボランティア、地元自治会との地域課題に関する意見交換などさまざまな活動の実施や協力なども行っています。



夏祭りに協力

令和5年度活動実績 相談・支援件数 (3,407件)



令和5年度の活動実績は相談・支援活動が合計3,407件あり、分野別では、高齢者に関することが1,924件と一番多く、その他には障がい者に関することが170件、子どもに関することが783件、その他が530件になりました。

また、年間活動日数は総数で23,299日、一人当たり約165日になりました。昨年度は一人当たり147日程度だったため、徐々に活動日数が増えており、例年一人当たりの活動は150～160日程度のため、コロナ禍以前まで活動日数が回復しています。

専門部会の活動について

各地区の民生委員活動には、地域の見守りなどの活動だけでなく、それぞれ児童福祉専門部会、障がい者福祉専門部会、高齢者福祉専門部会といった専門部会を設けています。

それぞれの部会の立場から、話し合いや研修会を実施し、地域のこれからを考えた活動もしており、各民生委員は3年の任期の間にすべての部会を経験します。

本年度の専門部会研修内容

以下内容について、民生委員児童委員としての関わり方や現状の制度や状況等を学びました。当日は活発な質疑応答も行われ、様々な地域の委員同士による情報交換ができました。

部会	主な研修内容
高齢者	高齢者施設に特化した利用の内容を確認
障がい者	伊勢原市の障がい者福祉の状況や制度について 伊勢原市の障がい児支援について
児童	伊勢原市の子育て支援事業の現状について、こども家庭相談課とは（業務内容や相談内容、民生・児童委員との連携について）



児童福祉専門部会の研修の様子

広報委員会

編集後記

委員長	菅 重男 (大山高部屋)
【地区担当】	二宮千佳子 (伊勢原北) 松田 敦子 (伊勢原南)
	高梨 明美 (大山高部屋) 小華和三舟 (比々多)
	北村千代子 (成瀬) 亀井 光代 (大田)
【高齢者福祉専門部会】	片岡 勇司 (成瀬)
【障がい者福祉専門部会】	佐久間佳代子 (大田)
【児童福祉専門部会】	中村 知美 (成瀬)
【主任児童委員】	福岡 敦子 (伊勢原北)

今年は大規模な災害が世界中で発生した年でした。1月の能登半島地震で、多くの人びとが辛い生活を余儀なくされています。今回改めて私たち民生委員児童委員も災害時の支援に関する研修を受け、自分たちの役割と、身近な住民同士の交流の大切さを再認識し、その内容をこの「たより」でお届けいたします。

いせはら 民生委員児童委員だより

発行 伊勢原市民生委員児童委員協議会

〒259-1188 伊勢原市田中348番地

編集 広報委員会

☎0463(94)4718

ホームページ:『伊勢原市 民生委員』で検索 <http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2018053100033/>

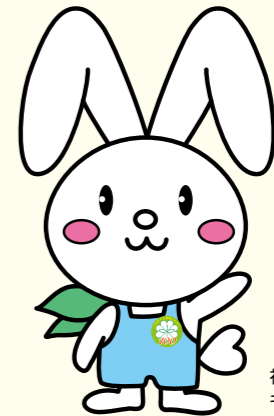


民生委員児童委員は地域の身近な支援者です

こんなことで困った時は...

高齢者の世帯やひとり暮らしの方の健康不安や非常時の避難が心配...

子どもが生まれたが、近隣に相談できる相手がおらず、何かあったら不安... など



気軽に
ご相談
ください!

神奈川県民生委員児童委員協議会
キャラクター「みんびよん」

地域の身近な相談相手として「きづき・つなぎ・みまもり」ます。

- ①住民の身近な相談相手として生活上の困りごとに「きづき」寄り添います。
- ②相談に応じ、情報提供や必要な支援が受けられるよう行政や専門機関へ「つなぎ」ます。
- ③住民の生活を身近な地域で「みまもり」ます。

あなたも

民生委員児童委員を やって みませんか



■民生委員児童委員は、民生委員法・児童福祉法により、厚生労働大臣から委嘱されて活動しています。

■自治会や行政などの関係機関と連携し、地域の絆づくりを進めています。

主任児童委員制度は 創設30周年を迎えました

主任児童委員は子どもや子育てをめぐる課題の多様化を受け、平成6年に主任児童委員制度が設立されてから令和6年1月で30年を迎えました。

伊勢原市でも小学校区単位を基本に13名の主任児童委員を配置し、児童を専門に学校や行政と連携をして活動しています。

現在では、子どもや子育てに関する不安や心配事を相談しやすい身近な支援者となるために、子どもに関する内容の研修や委員同士の情報交換を随時行い、支援方法について検討しています。

民生委員児童委員の連絡先

担当委員をお知りになりたいときは、事務局に連絡してください。
☎ 連絡先 伊勢原市役所 1階 福祉総務課 ☎94-4718(直通)

大山高部屋地区 25自治会

大山上、大山中、大山下、子易上、子易下、川上、ゞ引、峰岸上、峰岸下、ハイム上粕屋、峰岸団地、辻尾崎秋山、台久保、山王原、石倉、子易、一之郷中丸、宮下、宝地九沢長竹、原、日向の里、新田、洗水、坊中高橋、藤野

「そなえよう！」－防災体験学習施設での研修を実施－

大山高部屋地区は山を背にした急傾斜地が多い地域であり、地震や大雨による土砂災害発生危険性が高く、ライフラインの寸断による孤立状態の発生も懸念されます。近年各地で大規模災害の発生が増えており、いつ起こるか分からない災害に備えるため、令和5年度研修として東京臨海広域防災公園そなエリア東京での防災体験学習を実施しました。

防災体験ゾーンの東京直下7.2hツアーではタブレット端末を使ったクイズに答えながら避難所まで移動し、最大震度7の地震発生から避難までの生き抜く知恵を学びました。また、防災学習ゾーンでは、災害の状況やタイミング、個々の状態に合わせた備えを見て触って学習し、普段から防災意識を高め知恵と知識を身に付けておくことがとても重要なことだと再認識しました。



防災体験学習

比々多地区 11自治会

神戸、串橋、笠窪、坪ノ内、善波、栗原、三ノ宮、白根、もえぎ台、大住台、ヘルフラワーズ大住台

～あいさつは人と人をつなぐ架け橋～



登校時のあいさつ運動の様子

玄関先で庭の手入れをする人や、畑で作業をする人を見かけると「こんにちは、お花がきれいですね」「ご精が出ますね」などと、見知らぬ者どうしでも昔は声を掛け合ったものです。声を掛け合い双方の人柄に触れることで、心が和むなど地域の防犯にもなっていたのだと思います。

三つの小学校区を持つ山王中学校では、民生委員児童委員、青少年指導員、PTA、自治会と先生方とで協力して、登校時のあいさつ運動を年三回実施しています。はきはきとあいさつする子、照れくさそうにあいさつする子、恥ずかしくて緊張からか目も合わせられず小さな声であいさつする子、どの子もそれぞれにかわいらしく思春期真っただ中。「自分を大切に、健康で安全にね」と願いつつ、今後も地域におけるあいさつと見守り活動を続けていきたいと思ひます。

伊勢原南地区 20自治会

大原町、千津南、下大竹、谷戸大竹、池端、中尾、大匂、馬渡、八幡台一区、八幡台二区、八幡台三区、原之宿、天王原、上平間台、沼目団地、星和マンション、ネオハイツ、平間台、木津根橋、サンクレイドル

～みんなで「学ぶ」、チームミナミンピョン～

南地区では、「チームミナミンピョン いせはら」～学ぼう・知ろう(理解)・役立てよう～を、3年間のテーマに設定しています。2年目の今年は、みんなで知ろう(理解しよう、しあおう)ということで、つぎのことを共通の心がけとして、活動・研修をしています。



「足柄療護園」にて

声かけあって、心のつながりへ、「広げよう笑顔で声かけ、認め合い」「ほっと(安心)・ホット(あたたかい)・Hot(熱意)」

<活動・研修内容の一部を紹介>

- 公民館祭りにて、南地区民生委員児童委員の活動紹介の展示に加えて、新しく「ほっと・ホット・Hot」Caféをopenし、地域の方同士がふれあえる場を設置し、地域の方の考えにふれる機会とした。



公民館まつりにて

伊勢原市の 民生委員児童委員活動

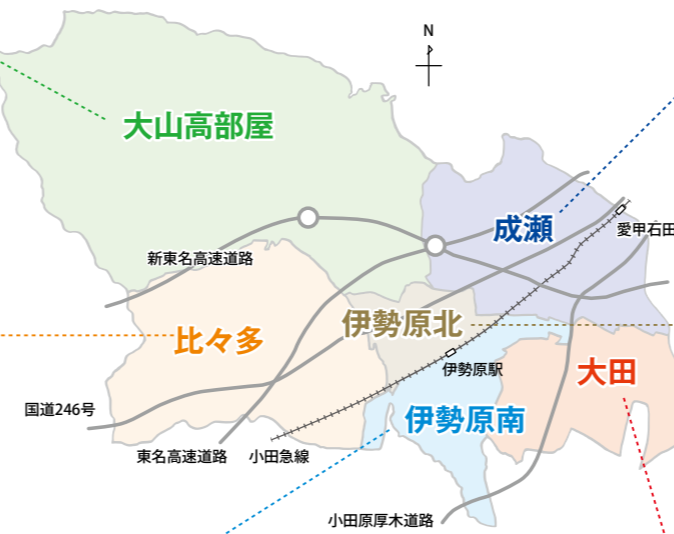
伊勢原市の民生委員児童委員は141人です。このうち自治会の範囲を基本に地区で活動する委員が128人、児童を専門とする主任児童委員が13人となっています。

地区名	委員総数	★
伊勢原北	26人	2人
伊勢原南	31人	2人
大山高部屋	21人	2人
比々多	16人	2人
成瀬	34人	3人
大田	13人	2人
合計	141人	13人

各委員は、6地区に分かれ、個人活動だけでなく、地区全体での活動も行っています。

ここでは各地区の様々な活動をご紹介します。

★は委員総数内における主任児童委員の人数。



主任児童委員

－子どもたちの笑顔を願って－

私達は、児童福祉を専門に担当する委員です。18歳までのお子さんや、お子さんのいるご家庭の困った時や大変な時に必要な支援ができるよう、学校や関係機関と連携し、月に一度、様々な研修をしています。

夏には、教育センターの深澤しのぶ氏に講演をして頂きました。年々増えている、学校に行くことが出来ない子どもに対して、周りの大人が、どのように対応すれば良いのか、例えば子どもに寄り添って待つことも大切。と学びました。小中学校すべての児童生徒にはタブレット端末が渡されていて、どこにいても担任の先生とコミュニケーションが取れることも知りました。秋には「おおきな樹」児童発達支援センターへ視察に行き、支援に必要な児童の対応について貴重なお話を聞きました。



「おおきな樹」の視察

これからも地域の子どもの成長を支えていけるよう活動してまいります。

成瀬地区 20自治会

下糟屋、東富岡、栗窪、前高森、北高森、小金塚、石田、見附島、下落合、高森台、東高森団地、あかね台、南落合、白金山団地、みどり、リパティタウン伊勢原、すみだ、リパティタウン伊勢原第2、アイリスの丘、東成瀬

～『お互いを知ろう』意見交換会～

高齢化社会を迎え様々な困難を抱えた高齢者が増えています。また頻発する地震等の自然災害時の要支援者への対応には、自治会と民生委員が地域の課題や情報を共有し連携して対応することが求められています。

そのために、成瀬地区自治会連合会と成瀬民児協がお互いの意思疎通を図り、連携できる環境を整えることを目的に意見交換会を開催しました。

全自治会長、民生委員・児童委員、東部・北部包括支援センターが参加して成瀬小、石田小、緑台小の3校区に分かれ、自治会ごとの課題や情報を出し合い活発な意見交換が行われました。

初めての試みでしたが、今後も交換会を通して民生委員児童委員の活動を自治会の皆さんに知ってもらい良い機会にしていきたいと思ひます。



意見交換会

伊勢原北地区 15自治会

伊勢原上、伊勢原第三、伊勢原第四、片町第一、片町第二、七区第二、駅前第一、千津北、金山、池端坂戸、田中、板戸第一、板戸第二、板戸第三、アメニティ板戸

～住民同士のつながりの大切さ～

民生児童委員の活動は行政サービスの勉強会、福祉施設の現状を知る視察、各種行事への参加協力など多岐に渡りますが、主な活動は、担当地域での訪問・見守り活動です。先日ある委員に“一人暮らしの知人を訪ねているが数日応答がなく心配だ”と地域の方からSOSがありました。一緒にその家に駆け付けるとやはり応答がなく、警察に連絡。雨戸を外し一緒に入ったところ、衰弱した女性を見つけ保護し、その後遠方に住むご家族と、病院を受診され、その結果一人暮らしは困難ということで施設に入所されることになりました。

このような事例を繰り返さないためにも住民同士が互いに気にかけて、声を掛け合う大切さを強く感じます。

少子高齢化、単身世帯の増加が進む今、より一層地域の皆様と協力し合い安心して暮らせる地域づくりに努力していきたいと思ひます。



訪問活動にて

大田地区 11自治会

上谷、下谷、沖小稲葉、西屋、新屋、下小稲葉、上平間、下平間、東沼目、西沼目、つきみ野

～「地域の身近な相談相手」として～

大田地区は13名の委員で活動をしています。毎月の定例会後に東部地域包括支援センターの職員の方々にご参加いただき、高齢者への支援や様々なケースへの対応について意見交換をしています。

公民館まつりでは大型パネルに民生委員と包括支援センターのしくみや役割を展示し、ご来場の皆さまに説明を交えながらチラシを配布し、改めて民生委員について知っていただけました。

これからも委員同士で情報を共有し、「地域の身近な相談相手」として広く知っていただけるよう地道に活動を続けていきたいと思ひます。



活動の紹介